

# **介護保険の現状と持続可能性**

**田近栄治**

**一橋大学大学院経済学研究科**

**2005 年 3 月 8 日**

## **1 . 保険としての仕組み**

■ 2000 年度から開始。市町村の高齢者福祉事業を社会保険である介護保険に代替。

### **■ 被保険者**

**第 1 号被保険者：65 歳以上、第 2 号被保険者：40 以上 65 歳未満**

**給付は加齢にともない身体介護が必要であること。第 1 号被保険者は、要介護者と要支援者。第 2**

**号被保険者は、初老痴呆や脳血管障害など老化による疾病に限定。**

## ■ 保険者

市町村。第 1 号保険料を地域住民から徴収し、保険給付を行う。県は介護保険事業者の認定などの監督を行う。

■ 厚生労働省は、介護保険の設計と見直しを行う。2004 年度に見直し、2005 年度改正法案提出。

## 2 . 負担と給付

### 2 . 1 財政負担

■ 10%=利用者の自己負担、

残り 90%=給付費

50% = 18% (第 1 号被保険者保険料) + 32% (第 2 号被保険者保険料)

50% = 25% (国) + 12.5% (都道府県) + 12.5% (市町村)

■ 第 1 号利用者：10%自己負担 + 給付額の 18%分の保険料

■ 第 2 号保険料：医療保険への上乗せ、全国徴収。

- 保険者：第 1 号被保険者の保険料徴収
- 都道府県と市町村負担は、地方財政措置（交付税対象）

## 2.2 給付

- 1) 市町村による介護認定
- 2) 認定：要支援、要介護度（5 段階）
- 3) 在宅の支給限度額（月額） 要支援 = 61,500 円；要介護度 1=165,800 円； 2=194,800 円；  
3=267,500 円；4=306,000 円； 5=358,300 円
- 4) 施設介護：特別養護老人ホーム、老人健康保健施設、療養型医療施設  
（社会福祉法人、医療法人に認可）
- 5) 在宅サービス  
訪問系（介護、入浴、訪問リハビリ）； 通所系（デイサービス、デイケア）；  
福祉用具・住宅改修； 居宅系（短期入所、グループホーム、有料老人ホーム）

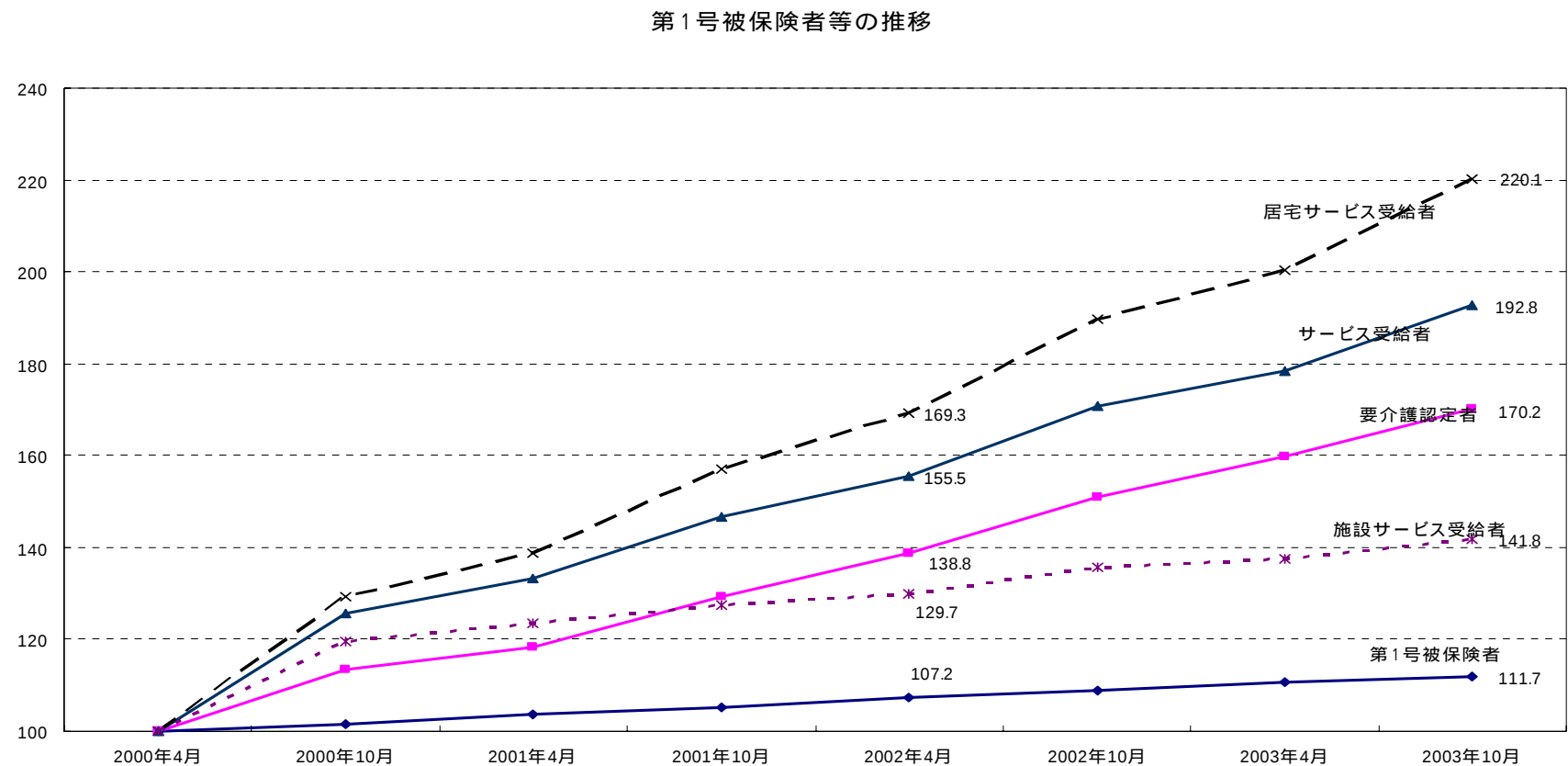
## 介護保険給付費の負担構造（2004 年度予算）

| 負担源  |              | 負担割合                          | 負担額                                            |
|------|--------------|-------------------------------|------------------------------------------------|
| 保険料  | 第 1 号被保険者保険料 | 18%<br>(被保険者に占める 65 歳以上人口の割合) | 9,813 億円                                       |
|      | 第 2 号被保険者保険料 | 32%<br>(被保険者に占め 65 歳未満人口の割合)  | 17,445 億円<br>(うち、国保加入者の保険料への国庫負担、<br>4,087 億円) |
| 公費負担 | 国負担金         | 20%                           | 10,903 億円                                      |
|      | 国調整交付金       | 5%                            | 2,726 億円                                       |
|      | 都道府県         | 12.5%                         | 6,814 億円                                       |
|      | 市町村          | 12.5%                         | 6,814 億円                                       |
|      | 給付合計         |                               | 54,515 億円                                      |

(出所)社会保障制度審議会、2004 年、『資料編 - 介護保険 4 年間の検証 - 』、介護保険部会第 14 回（2004 年 6 月 28 日）資料 5，148 ページ。

3 . 制度導入後の利用の変化

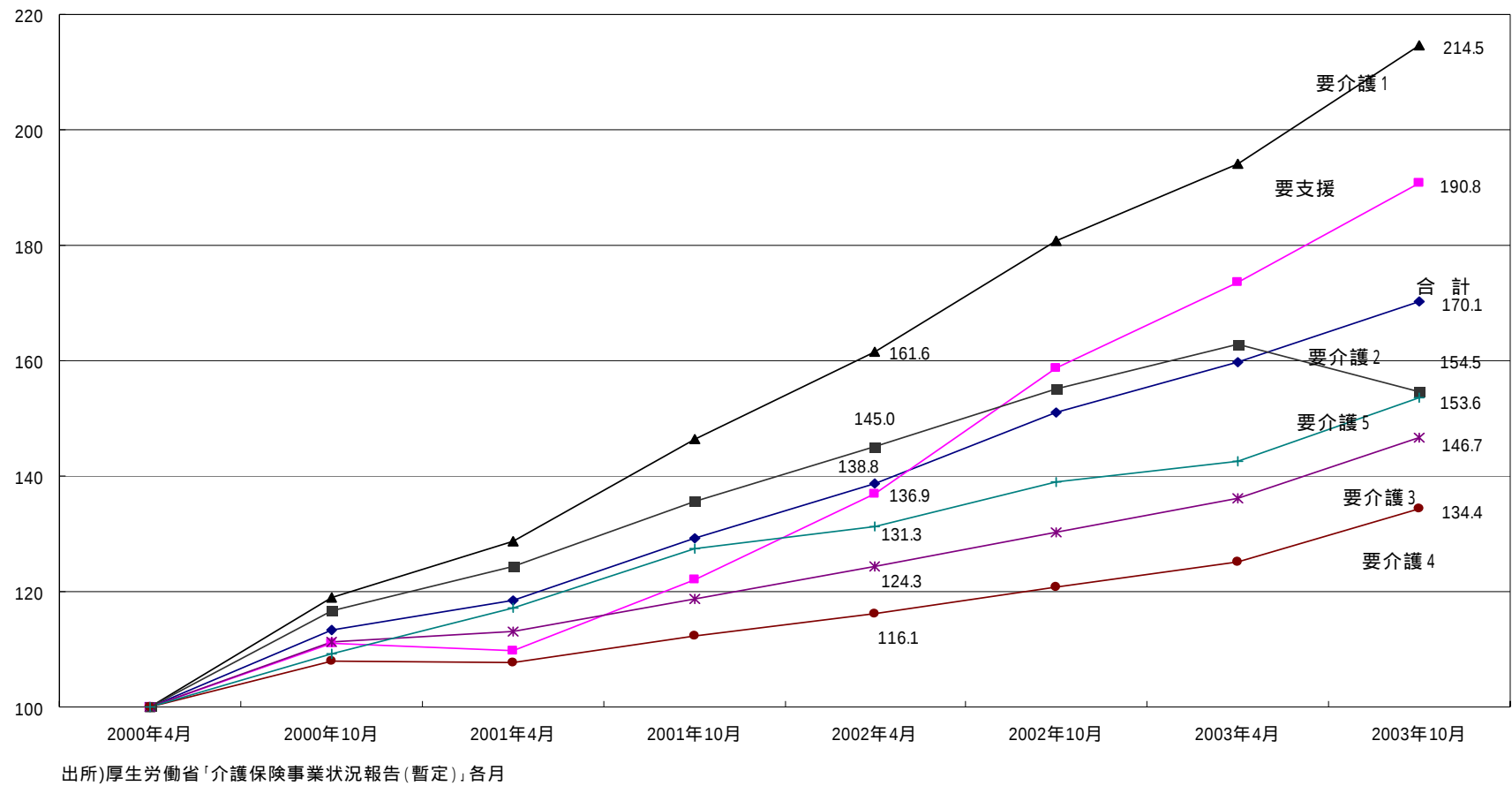
3 . 1 認定者と受給者の増大



出所)厚生労働省「介護保険事業状況報告(暫定)」各月、「平成12年度介護保険事業報告(年報)」

### 3.2 要介護度別認定者の推移

要介護度別認定者数の推移



### 3.3 利用の変化

#### 介護費用の推移

(単位:億円)

|          |             | 2000 年<br>度 | 2001 年度 |                | 2002 年度 |                | 2003 年度 |                |              |
|----------|-------------|-------------|---------|----------------|---------|----------------|---------|----------------|--------------|
|          |             | 費用額         | 費用額     | 対前年度<br>伸び率(%) | 費用額     | 対前年度<br>伸び率(%) | 費用額     | 対前年度<br>伸び率(%) | 対 12 年度<br>比 |
| 合 計      |             | 39,535      | 45,652  | 15.5           | 51,918  | 13.7           | 56,795  | 9.4            | 1.44         |
| 施設介護サービス |             | 26,594      | 28,544  | 7.3            | 30,422  | 6.6            | 30,996  | 1.9            | 1.17         |
| 居宅介護サービス |             | 12,941      | 17,108  | 32.2           | 21,496  | 25.7           | 25,799  | 20.0           | 1.99         |
| 内 訳      | 訪問系サービス     | 4,357       | 5,860   | 34.5           | 7,181   | 22.5           | 8,248   | 14.9           | 1.89         |
|          | 通所系サービス     | 5,604       | 6,740   | 20.3           | 7,885   | 17.0           | 9,133   | 15.8           | 1.63         |
|          | 福祉用具貸与      | 335         | 722     | 115.5          | 1,095   | 51.6           | 1,442   | 31.7           | 4.30         |
|          | 短期入所サービス    | 995         | 1,534   | 54.2           | 2,329   | 51.8           | 2,598   | 11.6           | 2.61         |
|          | 痴呆対応型共同生活介護 | 158         | 388     | 144.9          | 744     | 91.9           | 1,390   | 86.9           | 8.79         |
|          | 特定施設入所者生活介護 | 197         | 293     | 48.2           | 413     | 41.3           | 606     | 46.6           | 3.07         |
|          | 居宅介護支援      | 1,131       | 1,381   | 22.1           | 1,637   | 18.6           | 2,177   | 33.0           | 1.93         |

(注1) 各国保連の支払実績としての各項目を集計したもの。

(注2) 福祉用具購入費、住宅改修費などの市町村が直接支払う分は除く。

(注3) 居宅サービスには、ここに挙げたもののほかに居宅療養管理指導がある。

(出所) 国民健康保険中央会『給付状況(平成 15 年度分)』2004 年 7 月 7 日

#### 4．財政破綻の兆候：第1期（2000～2002年度）の県別財政

財政安定化基金：国、都道府県と市町村が三分の一ずつ積立。原則として次の事業運営期間に償還されなければならない。

第1期実態：

- ・ 貸付を受けた保険者の数は735、全体の25.7%
- ・ 貸付金額は財政安定化基金の積立額のほぼ20%
- ・ 沖縄：2002年度末で、86.7%の保険者が安定化基金から貸付を受けており、積立金に対する貸付金の割合は88%にも達している。
- ・ 青森県：58%が貸付を受け、その額は積立額の76%にもなっている。
- ・ 高知県、徳島県および島根県でもほぼ同様な財政状況である。
- ・ 第1期の貸付金は原則として、第2期の保険料の引上げによって返済されなければならないが、すでに沖縄の市町村などでは返済期間の延長を行っているところもある。

5. 将来負担： 田近栄治・菊池潤（2004）『フィナンシャルレビュー』による。

1 号保険料(2003 年度価格)の比較

単位：円/月(2003 年度価格)

| パラメーター     | 厚生労働省<br>基本推計 | 田近・菊池<br>ケース 1 | 田近・菊池<br>ケース 2 | 田近・菊池<br>ケース 3 | 田近・菊池<br>ケース 4 | 田近・菊池<br>ケース 5 |
|------------|---------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 認定率上昇最終年度  | 2005          | 2006           | 2007           | 2005           | 2006           | 2007           |
| 在宅利用者割合上限  | 80%           | 80%            | 80%            | 80%            | 80%            | 80%            |
| 在宅利用額割合上限  | 100%          | 100%           | 100%           | 100%           | 100%           | 100%           |
| 在宅利用者割合上昇幅 | 0%            | 0%             | 0%             | 1%             | 1%             | 1%             |
| 在宅利用額割合上昇幅 | 1%            | 1%             | 1%             | 4%             | 4%             | 4%             |
| 2003       | 3,084         | 3,084          | 3,084          | 3,084          | 3,084          | 3,084          |
| 2004       | 3,346         | 3,346          | 3,346          | 3,461          | 3,461          | 3,461          |
| 2005       | 3,690         | 3,690          | 3,690          | 3,944          | 3,944          | 3,944          |
| 2006       | 3,895         | 4,045          | 4,045          | 4,299          | 4,482          | 4,482          |
| 2007       | 4,069         | 4,227          | 4,386          | 4,637          | 4,841          | 5,045          |
| 2008       | 4,308         | 4,478          | 4,648          | 5,070          | 5,300          | 5,530          |
| 2009       | 4,406         | 4,582          | 4,758          | 5,354          | 5,605          | 5,855          |
| 2010       | 4,596         | 4,782          | 4,969          | 5,770          | 6,049          | 6,327          |
| 2011       | 4,772         | 4,969          | 5,165          | 6,148          | 6,451          | 6,755          |
| 2012       | 4,998         | 5,206          | 5,414          | 6,582          | 6,912          | 7,243          |
| 2013       | 5,227         | 5,446          | 5,665          | 7,027          | 7,386          | 7,744          |

(注) 認定率は 2003 年度から各ケースの認定率上昇最終年度まで上昇するものと仮定。

## 6. 障害者介護と介護保険

- ・ 障害者施策

支援費制度：2003 年度から。障害者の選択を生かし、障害者と事業者や施設との契約が可能。

- ・ 障害者を介護保険に加入させ、ゼロ歳からの介護保険制度とするべきか。
- ・ 保険として仕組まれた介護保険のあり方と矛盾。
- ・ 障害者の介護保険への加入を理由とした第 2 号被保険者の年齢引下げを行うべきではない。

## 7. 改革の道

### 7.1 利用者負担

- ・すべての給付に対して 10%の自己負担では、過剰な利用を誘発。
- ・給付サービスごとの自己負担率の調整。適用除外も考える。

### 7.2 公的保険の縮小と民間保険・サービスの代替：民間市場を生みだす環境の整備

- ・公的サービスの範囲の縮小
- ・よりよいサービス、より手厚いサービスは、民間保険やサービスで代替する。（混合保険の活用）

### 7.3 保険者改革

- ・全国各市町村が保険者であることは限界

保険者としての規模、ガバナンス機能（使う側と払う側）より広範な地域・職域保険者に。

### 7.4 国庫負担依存からの脱却

- ・第1号被保険者（の給付）国民健康保険加入者（の保険料）への一律国庫負担からの脱却。